



6月度「スカパー！ サヨナラ賞」受賞選手発表

セントラル、パシフィック両リーグが制定する月間「スカパー！サヨナラ賞」(協賛:スカパーJSAT株式会社)の6月度受賞選手が決定いたしました。受賞選手には、スカパーJSAT株式会社よりトロフィーと賞金 30 万円が贈られます。

～ セントラル・リーグ 受賞選手 ～

嶺井 博希
(横浜DeNAベイスターズ)
初受賞

嶺井選手は、6月21日(土)横浜スタジアムで行われた対埼玉西武ライオンズ3回戦、6対7で迎えた延長10回裏、二死1、2塁の場面で、右越の三塁打を放ちました。この日、嶺井選手は9回に代走として試合に出場。この10回に放ったサヨナラ三塁打が自身プロ入り初安打で、チームは乱打戦を制して劇的勝利を収めました。

DeNAの選手が受賞するのは、2012年の中村紀選手以来で、ルーキーの受賞は、2012年の同賞制定以来、両リーグ通じて初めてとなります。

～ パシフィック・リーグ 受賞選手 ～

今宮 健太
(福岡ソフトバンクホークス)
初受賞

今宮選手は、6月12日(火)福岡ヤフオク!ドームで行われた対中日4回戦、3対2で迎えた9回裏二死二、三塁、2ボール1ストライクの場面で、左中間へ逆転サヨナラ二塁打を放ちました。この日の福岡ソフトバンクは、3点を追う9回裏二死満塁から中村選手の二塁打で1点差に追い上げ、今宮選手の劇的な一打を呼び込みました。今宮選手にとっては、2013年7月14日、2014年4月3日に続き、3度目のサヨナラ打となります。

月間「スカパー！サヨナラ賞」は、月間を通じて最もインパクトのあるサヨナラ打を放った選手に贈られる賞として2012年に制定されました。スカパー！は、2006年シーズンから「プロ野球セ・パ両リーグ公式戦全試合、プレイボールからゲームセットまで放送」(※トップ&リレー、録画放送を含む)を掲げており、「試合終了最後の1球まで真剣勝負をお届けするスカパー！」から多くのファンに、プロ野球中継最大の魅力を伝えることができ、それがプロ野球界発展の一助となると考え、本賞へ協賛しています。また、同様の趣旨のもと2009年シーズンから、レギュラーシーズンを通じて最も劇的なサヨナラ本塁打、またはサヨナラ安打を放った選手に贈られる賞として「スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞」を制定しています。



(参考)過去の受賞選手

【月間「スカパー！ サヨナラ賞」】

2012年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3・4月度	中村 紀洋 (DeNA)	田中 賢介 (日本ハム)
5月度	森野 将彦 (中日)	A.バルディリス (オリックス)
6月度	和田 一浩 (中日)	M.ホフパワー (日本ハム)
7月度	石原 慶幸 (広島)	柘田 慎太郎 (楽天)
8月度	阿部 慎之助 (巨人)	柳田 悠岐 (ソフトバンク)
9月度	新井 良太 (阪神)	松井 稼頭央 (楽天)

2013年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3・4月度	福留 孝介 (阪神)	松田 宣浩 (ソフトバンク)
5月度	畠山 和洋 (ヤクルト)	浅村 栄斗 (西武)
6月度	M. マートン (阪神)	高橋 信二 (オリックス)
7月度	丸 佳浩 (広島)	嶋 基宏 (楽天)
8月度	長野 久義 (巨人)	浅村 栄斗 (西武)
9月度	石原 慶幸 (広島)	片岡 治大 (西武)

2014年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3・4月度	B.エルドレッド (広島)	A.ジョーンズ (楽天)
5月度	梵 英心 (広島)	加藤 翔平 (ロッテ)

【スカパー！ ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞】

受賞年	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
2009年度	亀井 義行 (巨人)	井口 資仁 (ロッテ)
2010年度	天谷 宗一郎 (広島)	小久保 裕紀 (ソフトバンク)
2011年度	長野 久義 (巨人)	松田 宣浩 (ソフトバンク)
2012年度	和田 一浩 (中日)	中田 翔 (日本ハム)
2013年度	長野 久義 (巨人)	浅村 栄斗 (西武)

以上